

# すこやかちゃん



かなむ **叶夢ちゃん**(平成16年9月24日生)  
 両親=加藤直樹・玲子さん〔入野〕  
 「保育園に入りお友達いっぱいできたよ！  
 歌も大好き沢山覚えたよ!!」



あんり れんな りんか  
**安莉ちゃん・蓮奈ちゃん・梨花ちゃん**  
 (平成15年2月2日生・平成19年6月8日・平成16年10月7日)  
 両親=鳥田佐俊・真千子さん〔長部〕  
 「いたずら目前！いつもは優しい  
 お姉ちゃんたちにガードされちゃった」



**みつきちちゃん**(平成19年7月31日生)  
 両親=日下秀夫・恵梨子さん〔若井〕  
 「お誕生日おめでとう！  
 アンパンマンのケーキでチョーごきげん」

## \*すこやかちゃんを募集しています\*

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。  
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



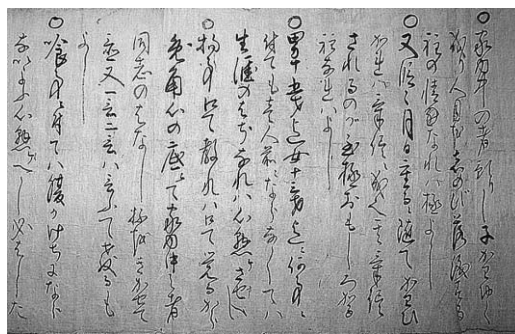
## 農村を救った紐のサムライ 大原幽学

### 6 幽学の子育て術

幽学はとりわけ子どもへの教えに心を注ぎました。中でも特筆すべきなのが換子教育とよばれるもの。これは七歳から十五、六歳の子どもを対象に、一年から二年かけて門人同士で交換して育てるようにしたものです。自分の子どもだけを育てていると、親はただ愛情におぼれ、子どもの恩に慣れてきてしまい甘えてしまふ。幽学は、そのことは教育上好ましくないと考え、子どもと親、両者の成長と自立を促したのです。

この子どもを預かる際のしつけマニュアル「子供仕込心得」が残されています。目的は明確。当時の成人年齢にあたる男十五歳、女十三歳までに一人前に育て上げることにあります。

子どもへの愛情のもちかたにはじまり、日ごろの生活態度に気を配り、礼儀やけじめをつけさせ、親が自らの行動をもつて平素と、時にはしっかりと諭すことなどが示されています。「物事を口で教えれば口で覚え



▶幽学の書いた子供仕込心得

るので、とにかく行いをもって教えること」「しりを軽くして子供の見本となるように。子供がだらしのないは自分がだらしのないせいである」と、なるほどと思わせる条文がつづきます。

全十九条、最後は「なにより愛情の深いことが極めて大切である」としめくくられています。時代を越えた子育ての本質を伝える貴重な心得なのです。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

## 暮らしのカレンダー

- 1日(土) 千葉県高校駅伝大会(9:00~東総運動場)
- 3日(月) 文化の日
- 9日(日) 黒虎相撲(9:40~袋太田神社)  
ふるさとまつり・ひかた  
(10:00~干潟中学校グラウンド)
- 15日(土) 第4回旭市生涯学習フェスティバル(~16日(日) 東総文化会館)  
旭市青少年意見発表大会(13:00~東総文化会館)
- 23日(日) 勤労感謝の日  
海上産業まつり  
(10:00~海上コミュニティ運動公園)

古紙配合100%再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

市内局番「60番台→50番台」「50番台→60番台」へかけるときは「0479」が必要です。

**編集後記**  
 10月には旭スポーツの森公園で「いきいき旭産業まつり」が行われました。当日は、さまざまなイベントや、数多くの店が並び、広い会場を埋め尽くすほどの多くの人出で、大盛況でした。新鮮な農水産物を買ったり、おいしそうな加工品を食べたりしている人たちのほくほくしている顔を見ていると、カメラを向けているこちらまで、つい顔がほころんでしまいます。今月行われる海上と干潟の産業祭りでも、そんな幸せそうな顔に出会えることを楽しみに、撮影へ向かいます。(A)